

新しい図書館を みんなで創ろう！



亀山駅前に新しい図書館の整備を進めるにあたっては、単に移転拡充するのではなく、これまでの図書館が抱えていた課題を解決するとともに、新しい概念も加えていく必要があります。

この視点をふまえて「亀山市立図書館整備基本計画」（基本計画）を平成30年5月21日に策定いたしました。

今後は、基本計画に示された理想とする図書館像について、その実現に向けて何をどうしていったらよいかを検討していきます。

平成30年度第1回図書館市民ワークショップ

今回は、その第1回目として、平成30年7月22日（日）10:00～12:00にあいあい（亀山市総合保健福祉センター）2階大会議室で開催いたしました、平成30年度第1回（通算第5回）図書館市民ワークショップの結果をお知らせします。

今回のテーマ：「来館だけが図書館？」 ～地域の読書活動拠点を考えよう！～



グループワークの様子

図書館に多くの方が来館されることはもちろんのことですが、図書館が提供するさまざまなサービスは、市民のだれもが受けることができるはずのものです。今回のワークショップは、だれもが等しく図書館サービスを受けられるようにするための方法とその課題をグループに分かれてみんなで意見を出し合いました。

ワークショップでの意見

（1）あなたが読書するならどんな場所？

みんなが意見を出しやすい雰囲気づくり（アイスブレイク）として、どんなところで読書をしている、してみたいかをグループ内でひとりずつ聞いてみました。

★アウトドア派

やっぱりリゾート！
身近な場所で！

リゾートホテルのプールサイド、キャンプ場、山小屋、波音が聞こえる海辺など。おしゃれ路線です。
静かなところ、風景の良い涼しい場所で、ベンチに座って、木陰、茶室のような狭い場所など。落ち着いた屋外であればという「お気に入りの場所」です。お寺という意見もありました。

★インドア派

なんてたって家！
おちついた場所で！
空いた時間で！

寝る前のベッドの中やリビング、書斎、座り心地のよい椅子やソファなど。体を動かしながらやテレビのスポーツ中継を見ながらといった意見もあります。
図書館はもちろんのこと、ハンバーガーショップやカフェ、鈴鹿の山々や草花が見える場所など。入院中の病院のベッドの上という切実な意見もありました。
病院の待合室、美容院、乗り物の中、電車などの待ち時間など、場所を選ばず生活の中の空いた時間が読書タイムです。

このように、「読書したい場所」にも多様性があることがうかがえます。

（2）来館だけが図書館？

今回のメインテーマです。グループごとに、次のようなテーマについて、①から③の順に話し合いました。

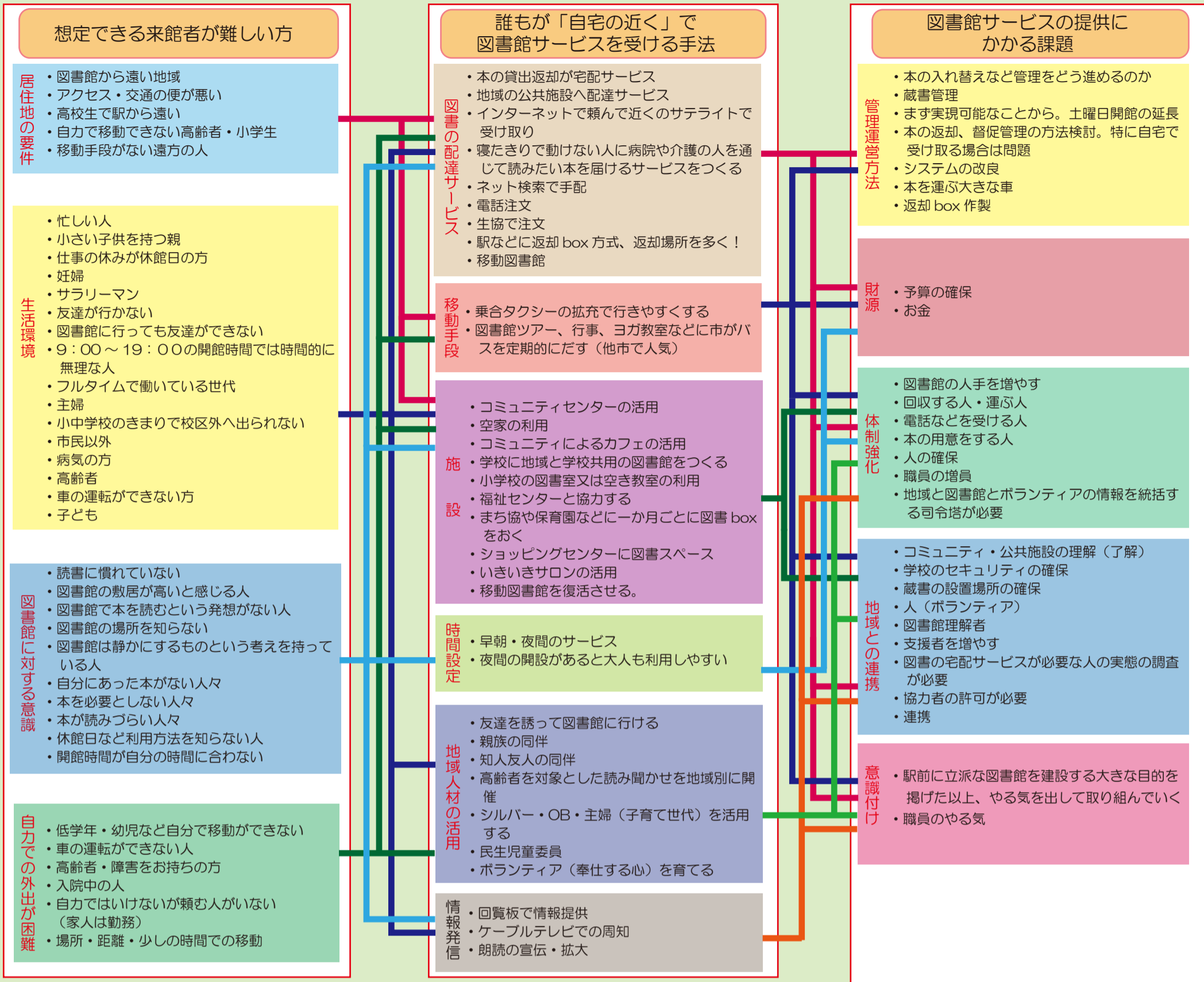
- ① 「図書館へ行きたいけど・・・」という思いを持たれるのはどのような方が想定できるのか？
- ② 「自宅の近くで」を共有キーワードにして、誰もが図書館サービスを受けられることができる方法は？
- ③ ②で出し合った、誰もが図書館サービスを受けられる手法を実現するための課題は何か？

グループワーク終了後は、①～③についてグループごとに発表を行いました。その結果をまとめたものが裏ページの表です。

ワークショップのまとめ

今回のワークショップでは、大きくは「本を届ける」という考え方のもとで、場所と地域の皆さんの理解を得るといった課題の整理が必要であることがわかりました。

また、何よりもこの取り組みの実現のためには、行政やスタッフの「やる気」が大切であるとの意見が参加されたみなさんの強い思いとして出されました。「本を届ける」という考え方においては、昭和55年（1980）の図書館開館時から平成18年（2006）2月まで、月に2回、移動図書館車を巡回させていましたが、利用者の減少もあって図書館運営委員会の答申も受けて、移動図書館車の買い替え時期にあわせて廃止をしています。この点も踏まえて、より使いやすい「本を届ける」しくみづくりを整理し、できるだけ早く案として示したいと考えています。



中井先生のまとめ

愛知工業大学工学部建築学科教授
市民ワークショップアドバイザー

今日のテーマである、だれもが図書館サービスを受けられるようにするための方法について、結論をワークショップで出せるものではないでしょう。

大切なのは、「やる気」を持って取り組むかどうかです。行政は当然ですが、市民にも「やる気」が求められています。行政の取り組みを常に市民が注目し、必要と思うことはどんどん意見を出していく、この関係を築くことが図書館を良くしていくためには大切です。


各地の注目図書館！

最近注目されている各地の図書館について毎号ご紹介いたします。


近年、全国ですばらしい図書館が整備されています。図書館整備事業を進めるにあたって各地の図書館の視察を行っています。今回は、そのうちから亀山市とも縁の深い岡山県高梁市図書館をご紹介します。

高梁市図書館は、平成29年2月に開館したばかりの新しい図書館です。JR備中高梁駅と一体化した複合施設として整備が行われ、1階が店舗、2階が店舗と図書館、3階と4階が図書館となっています。延床面積2,250㎡、蔵書数は12万冊です（合併前の旧町の図書館の分を除く）。注目されたのは、館内に書店と有名コーヒー店が一体的に設けられており、館内どこでもコーヒーなどを飲みながら読書に親しむことができます。また、図書の配置は、書店と同じように利用者がわかりやすいような配慮がなされています。また、学習室を含め閲覧席が多く配置されているほか、児童書のコーナーも充実しています。


高梁市図書館は計画段階から民間業者の参画を得て、指定管理制度を導入して管理運営を行い、年中無休、午前9時から午後9時までの開館時間となっています。




高梁市図書館入口



遮音性の高い学習室



吹き抜け全体の書架



高梁市図書館 HP

次回の図書館市民ワークショップ

平成30年10月8日（月・祝）10:00～12:00
青少年研修センター2階研修室
【テーマ】図書館基本設計案を考える！

■発行
：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習課
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地
電話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp

■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸（愛知工業大学教授）
平成30年8月31日
新図書館整備事業ニュースレター
第5号